

富山県富山市方言の待遇表現

齋藤 孝滋 布村 依子

0. はじめに

- (1) 調査対象地：富山市は富山県の県庁所在地であり、薬業、医薬品配置業の伝統を有する、人口約31万の地方中心都市である。
- (2) 調査年月日：1997年4月28日(月)
- (3) 話者：内山隆子氏 1925年1月3日(72歳)会社員
なお、内山氏は、富山県内における富山市以外の外住歴が若干あるが、言語形成期を含め人生の大部分を富山市で過ごしておられる。
- (4) 調査者・調査場所：調査は齋藤と布村が、布村宅にて面接で行った。なお、布村は話者である内山氏の孫にあたる。
- (5) 調査方法：当該調査票による質問調査。調査者のうち布村は内省が可能であり、また幼少よりしばしば話者の実際の言語生活に接する機会があったため、話者の回答を吟味しつつ調査を行うことができた。
- (6) 表記方法：方言事象は、音韻論片仮名表記で表記する。なお、語頭に促音が位置する場合があるが、それについては「ッ」で表記する<項目番号19、20、26>アクセントは、実際の音調をカギ式(例○「○」○)で記した。

I. 尊敬表現

I-1 対者敬語

- (1) A B C 代名詞「お前」はアンタ、係助詞「は」はこの場合一般的に使用しない。
A B 元気かね ゲンキ シ「トラ「レ」タ
C 元気かね オゲンキソ「ーデスネ <お元気そうですね>
- (2) A あしたは家に居るか アシタ 「ウ」チニ 「オ」ル「ー <あした家にいる?>
B あしたは家に居るか アシタ 「ウ」チニ オ「ラレマ」ス「ー
<あした家におられます?>
C あしたは家に居るか アシタ オウチニ イラッシャイマ「ステ」ショ「ーカ
<あしたお家にいらっしゃいますでしょうか?>
- (3) A あした行くか アシタ イ「ク」「ー <あした行く?>
B あした行くか アシタ イカ「レ」ル「ー <あした行かれる?>
C あした行くか アシタ イカレ「マ」ス「ー <あした行かれます?>
- (4) A 温泉に行かないか オンセンニ イッテ「コ」ン「ー <温泉に行つて来ない?>
B C 温泉に行かないか オンセンニ イッテコラレマ「セ」ン「ー
- (5) A B (どんな仕事を) しますか ナサイ「マ」ス「ー <なさいます?>

- (6) A (『水戸黄門』を) 見ましたか ミラ「レ」タ「一」 <見られた?>
 B (『水戸黄門』を) 見ましたか ミラレ「マシ」タ「一」 <見られました?>
- (7) A (ゆうべは) 何時に寝ましたか ナン「ジ」ニ ネタ「ガイ」ネ
 <ゆうべは何時に寝たのだね?>
 B (ゆうべは) 何時に寝ましたか ナン「ジ」ニ オヤスミニナラレマシ「ター」
 C そのベッドに寝てください ソノ「ベッ」トニ ヤスンデ クダ「サ」イ
- (8) A どこに行っているか ドコ イツ「トン」ガイネ
 B C どこに行っているか ドコ イットラ「レン」ガ「一」
- (9) A (どうぞ) 食べてください タベテ ミ「ラ」レ
 B (どうぞ) 食べてください アガッテ クダ「サ」イ
 C どうぞ食べてください ド「一」ソ アガッテ ミテ クダ「サ」イ
- (10) A その写真を(私に) 見せてくれないか ソノシャシン ミセ「テ」ヨ
 B その写真を(私に) 見せてくれないか ソノシャシン チョッ「ト」ミセ「テ」ヨ
 C (その写真を) 私にも見せてくれないか ワタシニ「モ」 ミセテクダ「サ」イ

I-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう ウ「チ」ニ 「オ」ルガヤ「ト」
 B C あしたは家に居るだろう イ「エ」ニ オラ「レ」ルト
- (12) A 居なかった オラン「ガ」ダ「ゼ」
 B C 居なかった オラレナ「カッ」テ ザンネン
- (13) A B そう言った ソー ユートラ「レ」タ「ヨ」
- (14) A 今そこに行っていた イマソコニ イットッタ「ガ」ヤ「ゼ」
 B C 今そこに行っていた イマソコニ イットラ「レ」タ
- (15) A B C (友達、別の年長のAさん、目上の人Bさんが) 来ている
 キトラ「レン」ガヤ「ゼ」
- (16) A B (〇さんが) 仕事をしている シトラレ「マシ」タ「ヨ」
- (17) (18) A B C 見せてもらった ミセテモロタ「ガ」ヤ「ゼ」
- (19) A B (私に) くださった ッターレ「タ」ガヤ「ゼ」 <くださったのだよ>
- (20) A B いただいた モロタ「ガ」ヤ「ゼ」 ~ ッターレタ「ガ」ヤ「ゼ」

II. 謙譲表現

II-1 謙譲表現

- (21) A B C わたしも ワタシ「モ」
 げんきだよ ゲンキデオリマ「ス」
- (22) A B 十分に食べました ジュー「ブ」ン イタダキ「マシ」タ
- (23) A B もちましょう オモチシマショ「一」 ~ オモチシ「マ」ス

- (24) A 待たせたね マタ「セ」テゴ「メー」ン
 B C お待たせしました オマタセシ「マシ」タ
- (25) A 駅で待っているよ エ「キ」デ マツ「トツ」チャ「ー」
 B 駅で待っていますよ エ「キ」デ マツ「テマ」ス
 C 駅で待っていますよ エ「キ」デ オマチシテ「マ」ス
- (26) A 言ってくれ ユットイテ ク「レ」ー「ン」
 B C 言ってくれ ユーテ ッター「レ」
- (27) A これをやろう コレ ア「ゲッ」チャ <これあげるよ>
 ~ コレ アゲ「ヨッ」カ「ー」 <これあげようか>
 B これをあげましょう コレ モラッテク「レ」ル「ー」
 C これをあげましょう コレ モラッテイタダケ「マ」ス「カ」 <買って頂けますか>

II-2 身内表現

- (28) A 買ってやった コーテヤツタガ「ヤ」ゼ <買ってやったのだよ>
 B 買ってやった コーテキタガ「ヤ」チャ <買って来たのだよ>
 C 買ってやった コーテヤリマシ「タ」チャ <買ってやりましたよ>
- (29) A 主人はもう帰っている オトー「ン」サン 「モーカエッテマ」ス
 B 主人はもう帰っています シュジ「ン」ワ 「モーカエッテマ」ス

III. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イ「ク」
 B 行きます イキマ「ス」
- (31) A (今日は)寒いね サ「ムナイケー」 <寒くないかえ>
 B (今日は)寒いね サ「ムイネー」
 C (今日は)寒いですね ヒ「エマ」ス「ネー」 <冷えますね>
- (32) A 居るよ オ「ル」ヨ
 B 居ます オ「リマ」ス
- (33) A よかったねえ イカッタ「ヤー」
 B C よかったですねえ イカッタ「ネー」

IV. 人間関係に応じた待遇表現

IV-1 特定表現の待遇表現

- (34) A そうか ソー「ヤ」チャ
 B そうですか ソー「ダ」ネ「ー」ー「ー」
 C そうですか ソー「デ」スカ

(35) 「その角を曲がって右へ行くと～」と教えるときに「マガッテモラッテ～」という形式を用いるか。→用いない。

(36) 「とんでもない」に対して「トンデモゴザイマセン」という形式を用いるか。
→用いない。

とんでもない ナ「ーン

IV-2 多人数場面の待遇表現

(37) 世話役を引き受けるときの表現 オヒキウケシマ「ス <お引き受けします>

(38) 「今度の旅行には参加者が少ないので皆さん参加してほしい」に対応する表現

コン「ド サンカシラレ「ルヒ「ト「ガ スクナ「イガデ 「ドー「カ ヒトリ

「デ「モ オー「ク イッテコン「マ「イケ <今度、参加される人が少ないので、

どうか一人でも多く行って来ませんかえ>

IV-3 位相による待遇表現

(39) A 挨拶

- | | | |
|---------------------|--------------|---------------|
| 1. お寺の住職さん | ゴン「ゲハン オ「ハヨー | * ゴン「ゲハン=住職さん |
| 2. 校長先生 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 3. 見知らぬ年配の男性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 4. 見知らぬ年配の女性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 5. 顔見知りの年上の男性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 6. 顔見知りの年上の女性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 | オ「ハヨーゴザイマ「ス | |
| 9. 同級生の男性 | オ「ハヨー | |
| 10. 同級生の女性 | オ「ハヨー | |
| 11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性 | オ「ハヨー | |
| 12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性 | オ「ハヨー | |
| 13. 近所の中学生の男の子 | オ「ハヨー | |
| 14. 近所の中学生の女の子 | オ「ハヨー | |

B どこへ行くのか

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. お寺の住職さん | ゴン「ゲハン ドコイカ「レ「ン「ガー |
| 2. 校長先生 | 一般的に尋ねない |
| 3. 見知らぬ年配の男性 | 一般的に尋ねない |
| 4. 見知らぬ年配の女性 | 一般的に尋ねない |
| 5. 顔見知りの年上の男性 | オ「デカケデ「ス「カ |
| 6. 顔見知りの年上の女性 | ド「コイカレ「ル「ガー |

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性	一般的に尋ねない
8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性	一般的に尋ねない
9. 同級生の男性	ドコイク「ガ」イネ ～ ドコイク「ガー
10. 同級生の女性	ドコイク「ガ」イネ ～ ドコイク「ガー
11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性	ドコイク「ガー
12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性	ドコイク「ガー
13. 近所の中学生の男の子	ドコイク「ガー
14. 近所の中学生の女の子	ドコイク「ガー

V. 総括（まとめ）

「場面設定の相手」による待遇表現形式は、A（親しい友人）、B（近所の年長の人）、C（土地の目上の人）のうち、A、B、Cともに問う項目においては、「A／B／C」、「A／B・C」という対立パターンが多くみられ（前者が9、後者が8項目）、一方「A・B／C」という対立パターンや対立のない「A・B・C」パターンは少数であった（前者が1、後者が3項目）。「A／B／C」パターンの場合は、AとBの対立は「（方言形における）常体形／敬体形」、BとCの対立は「（敬体形における）方言形／共通語（的方言形）」である傾向がみとめられる。AとBのみ問う項目においては対立のある「A／B」パターンが4項目に、対立のない「A・B」パターンが7項目にみられる。

また、「位相による待遇表現（IV-3）」の部分からは、バリエーションの使い分けの要因として、「年上か否か」「顔見知りか否か」が強く関与していることがうかがえる。

（さいとう こうじ 富山大学人文学部）

（ぬのむら よりこ 富山大学研究生）